

コミュニティーズ

下府中まちづくり委員会では、地域キャッチフレーズ『小田原の中核として発展し、みんな仲良く生き生きと暮らせる町、下府中』のもと様々な活動を行っています。令和6年度の活動状況を振り返り、これからも下府中地域の多くの方が楽しく参加できるように進めてまいります。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

まちづくり委員会(地域コミュニティ)とは まちづくり委員会 委員長 服部 謙一 (記)

地域のみんなが笑顔で暮らせる元気なまちを作りたい、まちづくり委員会は、そんな思いを持って、地域をより良くするために自治会を中心的な存在として、地域関連団体と協力しながら地域の防災や防犯、環境美化や地域の見守りなど様々な活動をしています。

しかし下府中地区でも、少子高齢化、核家族化や個人の価値観の多様化などにより、地域を支える人材が不足し、住民同士のつながりが希薄になってきているように思われます。

こうした厳しい状況を乗り越え、元気なまちを作っていくためには、地域コミュニティを支える住民、地域関連団体、行政等が力を合わせ、自発的に様々な地域課題に取り組んでいくことが重要です。

それぞれの地域に暮らす人たちの思いを活かした地域づくりを実現できるよう、同じ思いを有する方々そして行政と連携して、まちづくり委員会(地域コミュニティ組織)の活性化に取り組んでいきます。

全体事業活動

令和6年度のまちづくり委員会は、コロナウイルスの5類への移行に伴い、注意をしながら活動が活発になってきました。「防犯活動とあいさつ活動を兼ねた清掃活動」の実施は、着実に成果を収め、地域の清掃活動によるごみの無い環境は広がって来ています。加えて、各自治会においても地域のコミュニケーションを図る行事が次々と開催され、ようやくコロナ前の状況に近づいてまいりました。各地区での人と人との繋がりが、安心・安全なまちづくりの土台となり、住み良い下府中をめざしていきましょう。以下に、その活動の内容と写真を掲載したのでご覧ください。

《活動日》 毎月第4木曜日 15時～(1時間弱)

年度	参加人数	年度	参加人数	年度	参加人数	年度	参加人数	年度	参加人数
平成27年	1,358人	平成28年	1,165人	平成29年	1,237人	平成30年	1,221人	令和元年	1,056人
令和2年	860人	令和3年	852人	令和4年	1,039人	令和5年	979人	令和6年	797人(4~12月)

自治会活動の紹介



～正月飾りを作りました～ 矢作自治会 会長 官野 稔 (記)

矢作自治会では、世代間交流会として年末に「正月飾り」の作製を矢作公民館1Fホールで実施しています。写真は、令和6年12月22日に開催したものです。

自治会員の農家の方に材料提供と指導を頂き、藁、橙、裏白等全て本物の材料を使用して正月飾りを2時間程で完成させます。毎年20～30名の参加があり大変好評な行事です。

～下堀の「だんごやき」行事～ 下堀自治会 会長 志村 不二男 (記)

今から六十五年ほど前、下堀は世帯数二十戸の小さな集落で、多くが農家か兼業農家でした。毎年1月14日は、今でいう「どんど焼き」が行われました。正月飾り、お供え餅を敷いた半紙、前年のダルマは、青年の田(村の共有地で現在の下堀公園・公民館敷地の一部)に積み上げられ、各家では、朝から丸、小判、動物などの形をしたお団子をつくり、剪定で出た柿の枝先に刺して、自宅の神棚と道祖神、お地蔵さん始め集落に点在する祠(ほこら)にお供えしました。



全小学生の下校が終わる頃お焚き上げが始まり、残り火で焼いただんごを食べれば無病息災となる「だんごやき」をします。集まった人には神酒、甘酒などが振る舞われました。

夕方からは、ろうそくを灯した「下堀子ども会」提灯を、ハチマキ状に下げた木製の山車に新一年生を乗せ、屋根では、上級生が「テンテケマッちゃん、テケマッちゃん」の音頭で小太鼓を打ち鳴らしながら、集落の安全、五穀豊穡を祈って曳綱として棒で砂利道の集落を巡行しました。集落内の神様にお供えしたお団子の回収は、早く下校した子どもの役目でその年の行事当番の家に持ち込み砂糖と醤油で煮込んでもらいます。巡行後、子どもたち全員がその家に集まり、煮だんご、お汁粉をごちそうになりながら地域の連帯を深めました。

「だんごやき」は、内容の簡略化やコロナ禍による中断もありましたが、現在のどんど焼きで行われ、太鼓演奏の歴史は、下堀お囃子保存会に引き継がれています。

～つながりが深まりました 三世代間交流～ 鴨宮3区自治会 岩崎地区委員 (記)

令和6年11月24日(日)、小春日和の一日、三世代間交流が開催されました。この交流は、地域の子どもたちを中心に三世代のみなさんが集まり、昔遊びや食事を通して交流し、つながりを深めることをめざすものです。



今年度の当番区は鴨宮3区でしたが、2区、4区-1、4区-2の自治会役員のみなさん、青少年育成推進委員、2区長寿会、若竹子ども会など地域のみなさんに協力いただきました。おかげで、子どもたち概ね30名を含む80名を超える地域のみなさんの参加をいただき、盛況な会となりました。昔遊びでは、加茂神社境内で「独楽回し」「ペタンク」、鴨宮公民館2階和室で「オセロ・トランプ」「将棋」「百人一首」、1階ホール舞台で「太鼓」を子どもたちと一緒に楽しみました。気持ちの良い青空の下、地域の子もたちを真ん中に、様々な世代が集い、昔遊びを楽しみ、餅つき体験をして、みんなでお餅を食べる…

本当に素朴な交流ですが、自然体だからこそつながりが深まるのだと感じます。子どもたちの笑い声に包まれたアナログの時間は、様々な世代を繋いでくれました。そして、子育て世代の若いみなさんの頼もしさを感じる時間でもありました。



防災分科会

～防災分科会この一年の取り組み～ 防災分科会 副会長 岡本 信幸（記）

9月14日（土）マロニエにて防災分科会主催で『発災直後から起こるさまざまな問題』についての講演会を実施し40名の方々に参加して頂きました。災害発生後、過酷な避難生活で多くの方が災害後に亡くなっています（災害関連死）。この現状と特に動けない環境で筋力が低下し動けなくなる『生活不活発病』の要因と防止策について神奈川県西地区リハビリテーション協議会の前田大助様、矢部則明様に講演、防止するための運動を指導して頂き全員で体を動かし体験しました。

また、11月2日（土）大地震発生を想定した小田原市いっせい総合防災訓練が行われました。各地区の一時避難所に避難し各地区の訓練実施後、広域避難所である下府中小学校と鴨宮中学校に移動し、訓練に参加していただきました。受付受け入れ訓練、レンジバーナー炊き出し訓練、マンホールトイレ（下府中小）、災害ダイヤル訓練（鴨宮中）、AED&心肺蘇生訓練を消防団、NTT、小田原市配備職員の皆様の協力のもとに行いました。当日はあいにくの雨天にも関わらず、下府中小：184名・鴨宮中：143名の方々に参加して頂きました。

参考：まちづくり委員会防災分科会は学校関係者、保護司会、消防団、自治会長、旧自治会連合会役員等、オブザーバーとして防災リーダーに加わってもらい22名で編成され地域の防災力強化のための活動を行っています



（講演会）



（防災訓練）

健康分科会

～近隣の史跡巡りウォーキング～ 健康分科会 会長 御手洗 秀男（記）

健康分科会では、今年もウォーキング「わが街を歩き歴史を学ぼう」を開催しました。

今回は第7弾として、令和6年11月17日（日）に飯泉観音と近隣の史跡を巡り歴史を学ぶウォーキングを実施しました。

当日は夏日の暑さとなり参加された30名の方々が汗を拭きながら約2時間半余りの歴史散歩となりました。

2名の小田原ガイド協会の方の案内で、下府中市民集会施設を起点に2班に分かれて出発しました。まずは、お隣の浄水観音にお参りし、巡礼街道に出て飯泉観音に向かいました。「だるま市」など馴染みあるお寺ですが、境内にあるお堂や石碑など普段目に留めないものが、ガイドの方の詳細かつ分かり易い説明で改めて歴史を深堀できたと思います。その後、黒まま堰、飯泉の渡し跡、光照寺、岩瀬邸の6ヶ所の見学ポイントを巡り、集会施設に戻って来ました。ゴールでは2班が時間差到着で班別解散となりましたが全員完歩しました。参加の方々お疲れ様でした。来年度も健康増進のため、近隣の史跡探索ウォーキングを予定しています。皆様と一緒に歩きましょう。



（飯泉観音）



（光照寺）

自治会活動の紹介

～地区民体育祭 リレーで男女共優勝～ 中里2区自治会 会長 露木 幹也（記）

令和6年10月6日（日）に開催された下府中地区民体育祭で中里二区は総合2位でした。特に活躍が目立ったのは、最終種目のリレーです。小中学生を中心とした若手メンバーが予想通りの走りをしてくれ、男女ともに優勝という素晴らしい結果を残してくれました。

中里2区でもほかの自治会と同様に体育部と子ども会が中心となって出場選手集めをしています。毎年苦労しているのが現状です。回覧で出場選手の募集をしても集まるのは数名。体育祭当日に来てくれた子ども会の保護者や自治会役員で選手表を埋めていくというのが現状です。それでも最終的には47名が参加してくれました。来年度は子ども会が解散する予定なので、今後どのように参加者を集めていくのか大きな課題となっています。



～歌声が弾んだ敬老会～ 鴨宮4区-1自治会 会長 殿岡 裕（記）

鴨宮4区では今年度も9月15日に鴨宮公民館にて4区合同敬老会を開催致しました。公民館には40名近い先輩達にお集まりいただき、第一部は敬老式典、第二部は余興の順で進んで行きました。余興では青春歌謡（高校三年生ほか5曲）を全員で合唱し、加えて飛び入りのリクエストコーナーも設けました。歓談をはさみ、地域で大人気のおやしバンドの演奏もあり、楽しい時間を過ごすことができました。



余興も終わり、最後には結婚60周年を迎えた二組のご夫妻に花束を贈呈し、お祝いをしてからお開きとなりました。

また来年も継続して参加者が楽しんでいただける企画を用意し、開催していきたいと思っています。



（鴨宮2区 忘年懇親会）



（大道 納涼祭）



（中里1-2 八幡神社の祭礼）



（東氏子道祖神）

河川美化分科会

～酒匂堰・小八幡川及び下菊川一斉清掃～

河川美化分科会 会長 植田 敏光（記）

河川清掃は、白銀公民館の行事として10年以上行われていた小八幡川の清掃を、平成29年度から“下府中まちづくり委員会”の行事に拡大して行われるようになりました。



平成29年度は酒匂堰・小八幡川、平成30年度から下菊川を加えた2河川を7班に分け一斉清掃活動を実施しています。令和2、3年度はコロナウイルス感染症予防のため、中止となりましたが、令和4年度から復活し今年度も9月29日（日）実施することができました。今年度も189名と昨年を上回る多くの方々に参加していただきました。ゴミも可燃物136袋、不燃物25袋の他、沢山のパイプ類等を回収して頂きました。

例年多くの方々に参加していただき誠にありがとうございます。また、小田原市道水路整備課・地域政策課の皆様、ご協力いただきありがとうございました。

来年度以降も今年度同様に河川美化清掃を継続し、きれいな河川の維持をしていきたいと考えます。ご協力のほどよろしくお願いいたします。



（編集後記）広報委員 森重 宏明（記）

様々な活動を通して、地域の皆さまとの絆を深めることができた一年でした。皆さまのご協力と温かいご支援に感謝いたします。今後も一緒に素晴らしい時間を過ごし、楽しく明るいまちづくりをしていきましょう。